

令和3年度 地域連携看護学実習（学内）の紹介（まんのう町地域包括ケア）

今年度も残念ながら、臨地での実習は実現せず、学内で「妻と愛犬と共に住み慣れた自宅で最期まで過ごしたいと願うがん終末期の男性」を支える地域包括ケアのあり方を、ケースメソッドという手法を用いて討議しました。実際に事例を支援した診療所医師（主治医）、歯科医師・歯科衛生士、介護支援専門員の方々と共に、男性と妻の支援や多職種連携について議論しました。本人と家族の願いをかなえる多職種チーム形成について学びました。

（地域連携実習：片山・岡田・佐々木・竹内^{洋子}）



グループワーク：男性が最期まで妻と愛犬とともに暮らすことを支えるために……



討議を終えた後のホワイトボードはみんなから出された意見で埋め尽くされました

*顔写真の掲載は了解を得ています